

＜今年度の施設整備について＞

1. これまでの計画の進捗状況について

【平成 31 年度（令和元年度）】 ※令和元年度末の見込み。整備予定のものを含む。

北部	0 歳	1・2 歳	3～5 歳	計
見込数（A）	139	540	723	1,402
実績確保数（B）	143	508	730	1,381
過不足数（B-A）	4	▲32	7	▲21

南部	0 歳	1・2 歳	3～5 歳	計
見込数（A）	123	452	668	1,243
実績確保数（B）	129	472	697	1,298
過不足数（B-A）	6	20	29	55

→これまで、計画通りに整備を進めてきたところではあるが、上記のとおり、現計画と現在の確保予定数であれば、北部の 1・2 歳に 32 名分のマイナスが生じる見込みとなっている。現在、北部に 1 園、既存事業者による新規小規模保育事業所を開設予定としているが、この不足を解消するためには、さらに本年度の整備予定として小規模保育事業 2～3 園の整備が必要な状況となっている。

2. 計画上的見込みと平成 31 年度（令和元年度）4 月時点の現状について

① 計画上児童数と 4 月 1 日時点人口

	0 歳	1・2 歳	3～5 歳	計
平成 29 年度	840	1,567	2,523	4,930
平成 30 年度	740	1,597	2,412	4,749
平成 31 年度 （令和元年度）	728	1,465	2,303	4,496
平成 31 年度 計画上児童数	890	1,661	2,267	4,818

② 計画における見込数と実際の支給認定者数

	0 歳	1・2 歳	3～5 歳	計
計画（A）	262	992	1,391	2,645
実際（4/1 時点）（B）	162	810	1,298	2,270
B/A	61.8%	81.7%	93.3%	85.8%

→児童数については、上記①のとおり、想定していた平成 31 年度の計画上の推計児童数を下回り、年々減少していることがわかる。また上記②のとおり、計画上的見込数よりも、平成 31 年 4 月時点の支給認定者数が少なく、計画との乖離が生じている状況である。

3. 小規模保育事業所の入所状況について

→平成 31 年 3 月 1 日時点における、小規模保育事業所の入所率は 90%となっており、また、平成 31 年 4 月 1 日時点の速報値では、待機児童は発生していない。

現在、定員を上回り子どもの受け入れを行っている施設があることから、それらの弾力化を解消していく必要がある。しかし、今年度途中で認定こども園が 1 園開園し、また小規模保育事業所 2 園が現在整備途中であり、今年度中に開園予定であることから、更なる定員確保が見込まれている状態であるため、年度途中における新規申込みにも対応可能な定員数を確保できる見込みである。

以上 1～3 より、現計画上は、不足が生じており、更なる整備が必要な状態であるが、3 月・4 月時点の利用者数の状況や年度途中の待機児童の解消見込みを鑑みて、上記 1 で示した新規小規模保育事業 2～3 園の整備は行わないこととし、現計画に基づく定員拡充は、現在進めている小規模保育事業 2 園の整備を持って終了することとし、今後については状況に応じて検討していくこととする。